

長生橋

□発行 公立小野町地方総合病院
〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字槻木内6番地2
TEL(0247)72-3181 FAX(0247)72-3837

総合内科について

総合内科（総合診療科）とは、高齢社会となり1人で1つ以上の病気を持つ人が増えている中で、複数の病気のバランスを考えながら総合的に診療する科です。NHKのドクターGで紹介されたため、ご存知の方もいらっしゃるかもしれません。

患者さんやご家族からのお話（病歴聴取）と身体診察を最も重要と考えているため、診療に時間がかかることもございますが、皆さまのお役に立てるように精一杯がんばります。

2016年に設立された福島県立医科大学総合内科とも連携をとり、診断・治療困難の場合は迅速に適切な専門診療科へ紹介いたします。

また臨床研究について、福島県立医科大学の社会人大学院生として、入院病棟での身体抑制に関する研究を続けております。

今後、理学療法士との共同研究として運動教室を開催する予定です。興味のある方はぜひお声掛けください。



内科医師 添野祥子

非常勤医師紹介

皮膚科医師 渡辺 利夫



はじめまして、渡辺 利夫と申します。私は、福島県立医科大学を卒業後、同大学院で研修を行い郡山市内の病院勤務を経て、郡山市内で渡辺皮膚科クリニックを開業しておりました。

昨年末、クリニックの閉院により、ご縁があって、当病院で皮膚科の診療を担当することとなりました。

これまでの経験を生かし、地域医療に役立つ診療を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

内科医師 大沼 菊夫

私は、30年間勤めた磐城共立病院呼吸器内科の常勤医をこの5月に退職し、6月から公立小野町地方総合病院の内科外来で水曜日の診療を担当させていただくことになりました。呼吸器疾患と感染症の専門医としてその方面の仕事をしてきましたが、先日総合病院の外来に出た際は多様な患者さんに接し、とても新鮮さを感じながら、看護師などのスタッフに助けていただき仕事をしました。

私は小野中学校夏井分室の最後の卒業生です。65歳になり、小野町や近隣の皆様とまた関わりたくまりました。先日も患者さんとして同級生や実家近くの近所の方が来られたりして懐かしかったです。

胸部レントゲンやCTの異常陰影、肺炎、慢性気道感染症、肺結核などの抗酸菌症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎などに際してはお役に立てる可能性があります。どうぞよろしくお願いいたします。



子宮がん

婦人科非常勤医師 安齋 憲

子宮とは女性が自分の赤ちゃんを授かり、育てそして産むための大切な臓器です。その大切な臓器に発生する子宮がんの約半数以上が子宮頸がんです。子宮頸がんの原因は性交渉で感染するHPV（ヒト・パピローマウイルス）というごくありふれたウイルスです。最近では性交開始が早まり、20～30代の女性の子宮頸がんが増加しています。HPVは性交経験のある女性では誰でも、ほとんど1生に1度は感染しますが、その多くは免疫によって消失します。ただ、まれに（約1割）、ウイルス感染が長期化（持続感染）し、がんの前段階を経て、子宮頸がんに進捗することがあります。持続感染化するかどうかは個人差があり、現時点では予測できません。また、HPV感染から子宮頸がんに至る期間は平均10年以上とされていますが、個人差があり、免疫力が弱い人では数年で進行する場合もあります。そのため、定期的に子宮がん検診を受け、女性としての一生を健康で楽しく過ごしましょう。



機能性ディスペプシア

内科非常勤医師 猪狩 剛

皆さんは機能性ディスペプシアという病気をご存知でしょうか。聞きなれない言葉ですが、日本人の8人に1人がかかっていると言われています。機能性ディスペプシアとは胃に明らかな異常がないにもかかわらず胃もたれや胃の痛み、吐気などが現れる病気で以前は「神経性胃炎」などと呼ばれていました。ピロリ菌の感染、食生活、ストレスなどで胃の運動が低下し、「胃が十分に膨らまない」「胃から食べ物がうまく排出されない」ことが原因と考えられています。機能性ディスペプシアの治療では食生活やストレスの原因となるような環境、内服している薬など生活習慣の見直しが重要となってきますが、最近では機能性ディスペプシアに対する薬も開発されております。長い間、食後のもたれ感、灼熱感、早期飽満感、胃の痛み、吐気などに悩んでいる方は機能性ディスペプシアという病気かもしれません。一度外来で相談してみてください。



地域医療体験研修を開催しました

当院では、福島県立医科大学と連携し、地域医療への理解をより深めていただくため、地域医療の現場を実際に「見て」「聴いて」「感じる」ことができる「地域医療体験研修」を開催しました。

本年度の研修は2泊3日の行程で、8月7日からと21日からの2回開催し、福島県立医科大学生14名が参加しました。

初日は午前中に当病院の施設見学・院長講話、午後からは小野中学生との意見交換及び特別養護老人ホーム「こまち荘」の施設見学を行いました。2日目は小野町の「ヘルスアップ運動教室」への参加、川内村国保診療所や都路診療所の訪問と医師による講話をいただき、最終日は平田村の「健康教室」で血圧測定や健康相談を行い住民との交流を図りました。

参加した医学部生からは、当地域における医師不足の現状や地域医療の実情を知ることができ、大変参考になったと感想がありました。

地域医療について一層の理解を深めるとともに、今後の進路の一助となれば幸いです。

地域体験研修の風景

